

米沢市まちづくり総合計画（案） よねざわ しあわせビジョン2035【概要版】

第 1 部 序論

第 1 章 計画策定の趣旨
オール米沢で本市の魅力を活かしながら、市民一人ひとりが心身ともに健康で幸せを実感できる持続可能なまちを創り上げ、更なる市勢発展に結び付けるため、米沢市まちづくり総合計画を策定する。
第 2 章 計画の役割
- 本市の最上位計画として、将来像の実現に向け、市政運営の基本的な考え方を示す。 - まちづくりの特定の分野に関する個別計画の指針となる。
第 3 章 計画の構成と期間
- 基本構想（まちづくりの基本的な方向性） 10 年間（令和 8～17 年度） - 基本計画（重点プロジェクト、基本目標毎の施策） 前期 5 年間（令和 8～12 年度） 後期 5 年間（令和 13～17 年度） - 実施計画（具体的な事務事業） 1 期 3 年間とし、ローリング方式で別途策定
第 4 章 まちづくりを取り巻く社会情勢
A 人口構造の変化 - 人口減少、少子高齢化の進行 - 若い世代の首都圏への集中 B 社会・経済の変化 - 経済環境の複雑化 - DX の進展 - 多様な働き方 C 環境の変化 - 脱炭素社会への移行、GX の進展 - 自然災害の頻発化・激甚化 D 暮らしの変化 - 人生 100 年時代の到来 - 孤独・孤立問題の顕在化・深刻化 - 多様性の尊重、共生社会の形成 E 行政経営の変化 - 地方財政の悪化 - SDGs（持続可能な開発目標）を見据えた取組 F その他（地球規模でみる変化） - 世界情勢の不安定化と世界経済の不透明化 - 人口増加に伴う食料やエネルギーの需給バランスの変化 - 将来の予測が困難な VUCA の時代
第 5 章 米沢市の姿
- 人口減少が急速に進行。少子高齢化が進む見通し。 - 出生数が死亡数を下回る「自然減」が続く。 - 転入数が転出数を下回る転出超過より「社会減」が続く。 - 若年層で男性より女性の流出が顕著。

第 2 部 基本構想

第 1 章 将来像		
1 将来像	しあわせ 循環 学園都市・よねざわ	
	【説明】人口減少の抑制を図りつつ、持続可能で成熟したまちを創り上げるため、本市に関わる全ての人が「しあわせ」を実感できるまちを目指し、様々な循環によって、地域全体に「しあわせ」が広がる効果的・効率的なまちづくりを実現する。学園都市の強みを踏まえ、官民の連携をより一層進めることで産業の振興や地域の課題解決に取り組むとともに、豊かな自然や歴史・文化の中で、こどもから高齢者まで幅広い年代の人々が、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、ともに学び、支え合いながら活躍する新しい「学園都市」をつくり、「しあわせ」を実感できる「よねざわ」を目指す。	
2 重要目標達成指標	将来人口	実績：81,252 人（令和 2 年国勢調査） → 目標：7 万人程度（令和 17 年） ⇒人口減少のスピードを緩やかにし、持続可能なまちをつくる。
	地域幸福度	基準：5.87 点（令和 6 年調査） → 目標：6 点以上（令和 17 年）※市民アンケート調査の平均点（10 点満点） ⇒人口が減少しても市民一人ひとりが幸福を実感できるウェルビーイングなまちをつくる。 国が作成している地域幸福度（Well-Being）指標を活用する。
3 都市づくりの方向性	基本方針	- 人口減少社会にあっても持続可能なまちを目指し、生活サービス機能や居住の集約・誘導、それらと連携した公共交通のネットワークを形成するコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり - 本市の持つ豊かな自然や歴史・文化等を保全・活用した魅力的なまちづくり - 土地利用のための誘導や規制を行いながら、民間と連携したまちづくり
第 2 章 基本目標		
分野	目指す姿	方向性
基本目標 1 子育て・教育	米沢に誇りを持つこどもを育み、生涯にわたる「ひとづくり」を実現する	- 県内最高水準の子育て・教育環境を目指し、結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援を進め、こどもの健やかな成長と教育の質の向上を図り、本市に誇りを持つこどもを地域全体で育む。 - 高校・大学との連携強化、文化芸術やスポーツ等を親しむことができる環境整備を推進し、生涯にわたり学び育てる「ひとづくり」を実現する。
基本目標 2 産業・経済	働く環境の整備と高付加価値化により、市民所得の向上を実現する	- 本市の多様な産業をさらに成長させるため、若者が定住できる働く環境を整備するとともに、時代の変化を見据え、大学の研究開発等を活かした官民の連携により高付加価値化を図る。 - DX、リスクリング等による生産性向上や人材育成に取り組むことで、地域内の経済循環を高め、市民所得の向上を実現する。
基本目標 3 環境・防災・社会基盤	自然や歴史・文化と都市機能が調和した、安全安心な米沢を実現する	- 自然や歴史・文化と都市機能が調和したまちを目指し、環境に配慮した脱炭素社会の形成、歴史・文化を活かしたまちなみ整備、空き家の活用等による住環境づくり、交流が促進する公共交通の構築等に取り組む。 - コンパクトで災害に強い都市基盤を整備するとともに、ともに助け合う雪・防災対策を推進することにより安全安心で機能的な米沢を実現する。
基本目標 4 健康・医療・福祉	安心できる地域医療と、誰もが健康で活躍できる共生社会を実現する	- 人生 100 年時代に市民が健康で明るく元気に活躍し続けるため、安心できる地域医療の体制を構築するとともに、大学等と連携した健康長寿のまちづくりを推進する。 - 高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で自分らしく生活できる環境を整備し、全ての人に居場所と出番のある地域共生社会を実現する。
基本目標 5 協働・魅力発信・行財政	地域づくりと魅力発信を進め、市内外から選ばれる米沢を実現する	- 地域で住み続けることができるよう、多様性を尊重し、人と人をつなぎ誰もが活躍できる地域づくりを進めるとともに、魅力発信を推進する。 - DX や公共施設の配置等の最適化をはじめとする持続可能な行政経営を行うことで、質の高い行政サービスを市民・事業者提供し、市内外から選ばれる米沢を実現する。

第3部 前期基本計画

第1章 前期重点プロジェクト
「将来人口」と「地域幸福度」の達成に向け、前期5年間で特に重要性や緊急性が高く、先行的・優先的な投資が必要な取組を前期重点プロジェクトとして定める。プロジェクトは、各施策を重点的・分野横断的に集約し、まちづくりを牽引するための取組を示す。
※プロジェクトは主な取組を掲載
1 育み、学びたい！「ひと」プロジェクト
①結婚・子育てを応援する環境づくり よねざわ結婚支援センターによる取組／放課後児童クラブ利用料の無償化／診療所の新規開設、承継に対する支援
②未来を創造する力を育む教育環境づくり 小中学校の再編統合と学校施設の改修／小中学校給食の完全無償化と安全安心なおいしい給食／県立中高一貫教育校の設置
③生涯学び、活躍できる環境づくり 連携協定に基づく大学との協働／大学の知見や研究を活用した生涯学習／学生が地域の産業・企業を知る機会の提供
2 稼ぎ、創り出したい！「なりわい」プロジェクト
①市民所得が向上する産業基盤づくり （仮称）米沢地域産業振興センター、（仮称）イノベーション連携拠点における取組／国の研究機関等と連携し大学等による最先端技術の社会実装への支援／新たな産業団地の整備／ブランド力の高い農畜産物づくり／青果物地方卸売市場の施設整備
②地域価値を創造するデジタル環境づくり スマート農業による農業経営の効率化／デジタル技術を活用した鳥獣被害対策／地域の課題解決や活力の維持・発展に向けた先端技術の活用
③国内外をターゲットにした米沢ファンづくり 伊達家や上杉家ゆかりの文化を活かした観光振興／デジタルマーケティングの手法を用いた魅力の発信／新規学卒者やUJターン者に対する支援／ふるさと納税を通じたつながりの形成
3 住み続け、守りたい！「くらし」プロジェクト
①雪・災害に強く自然と共生する安全な地域づくり 脱炭素先行地域づくり／米沢消防署の建替え／タイムリーできめ細かな除排雪、雪処理の担い手確保、除排雪協会との連携
②快適なインフラ整備とまちのにぎわいづくり 市街地中心部における官民連携によるまちづくり／都市計画道路石垣町塩井線等の整備／市内全域の公共交通の維持
③全ての人に安心を届ける医療・福祉環境づくり 診療所の新規開設、承継に対する支援（再掲）／医療従事者の確保／重層的支援体制の整備／身寄りのない高齢者等の支援
④持続可能な地域コミュニティと行政の仕組みづくり 地域の課題解決に取り組む活動の支援／デジタル技術の導入／市民満足度の向上を図る取組／更なる歳入の確保や歳出の削減、廃止施設の利活用や不要施設の解体

第2章 施策体系	第3章 分野別施策			
基本目標	施策	施策の柱		
1 子育て・教育	1-1 結婚・妊娠・出産・子育て	1-1-1 結婚・妊娠・出産支援の推進	1-1-2 こども・子育て支援の推進	1-1-3 配慮が必要な家庭に対する支援の推進
		1-1-4 幼児教育・保育環境と居場所の整備		
	1-2 学校教育	1-2-1 学校教育の推進	1-2-2 教育環境の整備と学校給食の推進	1-2-3 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
	1-3 学園都市・生涯学習	1-3-1 高校との連携の推進	1-3-2 大学との連携の推進	1-3-3 生涯学習の推進
	1-4 文化・スポーツ	1-4-1 文化芸術の振興	1-4-2 スポーツの振興	
2 産業・経済	2-1 商工業	2-1-1 商工業の振興	2-1-2 企業立地の促進	2-1-3 創業の促進
	2-2 観光業	2-2-1 観光基盤の整備	2-2-2 国内外に向けた観光プロモーションの推進	2-2-3 観光推進体制の強化
	2-3 農林業	2-3-1 農林業の担い手の育成	2-3-2 農畜産物のブランド化	2-3-3 生産・流通体制の整備とスマート農業の活用
		2-3-4 鳥獣による農林業被害対策の推進	2-3-5 森林資源の利用・保全	
	2-4 産業人材・雇用	2-4-1 産業人材の育成	2-4-2 就業環境の整備	2-4-3 多様な働き方の促進
3 環境・防災・社会基盤	3-1 脱炭素・環境保全	3-1-1 脱炭素社会の推進	3-1-2 環境保全の推進	3-1-3 循環型社会の推進
	3-2 生活安全	3-2-1 交通安全対策の推進	3-2-2 防犯対策の推進	3-2-3 消費者被害対策の推進
		3-2-4 生活圏における鳥獣被害対策の推進		
	3-3 防災・消防	3-3-1 防災基盤の整備	3-3-2 防災力の強化	3-3-3 消防力の強化
	3-4 雪対策	3-4-1 冬期間の生活支援体制の整備	3-4-2 除排雪体制の整備	3-4-3 雪に対する基盤の整備
		3-4-4 雪の利活用の推進		
	3-5 都市計画・土地利用	3-5-1 都市計画・土地利用の推進	3-5-2 景観形成の推進	
	3-6 住環境	3-6-1 住環境の整備	3-6-2 市営住宅の適正管理	3-6-3 空き家対策の推進
	3-7 道路・公共交通	3-7-1 道路環境の整備	3-7-2 公共交通の推進	
4 健康・医療・福祉	3-8 上下水道	3-8-1 水道水の安定供給	3-8-2 生活排水対策の推進	3-8-3 水環境の保全
	4-1 健康・保健	4-1-1 健康づくりの推進	4-1-2 こころの健康の推進	4-1-3 健康づくりを支援できる環境整備の推進
	4-2 地域医療	4-2-1 地域医療体制の整備	4-2-2 市立病院の体制・機能の充実	
	4-3 地域福祉・社会保障	4-3-1 地域福祉の推進	4-3-2 地域福祉の担い手の育成	4-3-3 社会保障制度の安定運営
5 協働・魅力発信・行財政	4-4 障がい福祉	4-4-1 自立支援の推進	4-4-2 障がい者支援の推進	
	4-5 高齢福祉	4-5-1 生涯活躍の推進	4-5-2 高齢者福祉の推進	4-5-3 介護保険制度の円滑な運営
	5-1 市民参画	5-1-1 地域の担い手の育成	5-1-2 市民参画と協働の推進	5-1-3 地域コミュニティの活性化
	5-2 多文化共生・男女共同参画	5-2-1 多文化共生の推進	5-2-2 男女共同参画と女性活躍の推進	
	5-3 魅力発信・移住定住	5-3-1 シティプロモーションと情報発信の推進	5-3-2 市民交流の推進	5-3-3 移住定住の促進
	5-4 DX（デジタル・トランスフォーメーション）	5-4-1 行政DXの推進	5-4-2 デジタルを通じた価値創出	
	5-5 行政経営	5-5-1 行政サービスの質の向上	5-5-2 健全財政の維持と公共施設等の最適化	5-5-3 ふるさと納税の推進
		5-5-4 適正な人事管理と職員の育成	5-5-5 広域行政の推進	

